

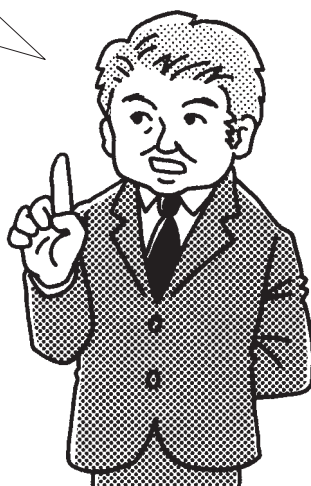
予算の状況

16年度は、台風18号による倒木などの被害に対する復旧費用や、平年を上回る降雪に対する除雪費用などの補正を114億円行い、最終的な予算は、前年度比0.7%減の8,344億円となりました。

主な補正内容

(単位：百万円)

- ・新敬老優待乗車証交付準備費 353
- ・道路・河川防災対策事業費 480
- ・災害復旧事業費 1,550
- ・小学校増改築費 1,602
- ・除雪費 2,000
- ・職員給与条例の改定等に伴う職員給与等の減額 -800



札幌市長
上田 文雄

平成十六年度一般会計（福祉や教育など市政運営の基本となる会計）予算の執行状況の見込みなどをお知らせします。確定した決算の内容は、市議会の認定を受けた後、十二月号に掲載する予定です。

詳細 財政部

☎211-2216

予算の執行状況

執行状況

一般会計における主な歳入・歳出の決算見込み

区分	科目	最終予算額	決算見込額
主な歳入	市税	2,588億円	2,582億4,700万円 (138,518円)
	国庫支出金	1,403億5,000万円	1,347億9,500万円
	地方交付税	1,120億3,700万円	1,124億6,300万円
	市債	820億600万円	729億4,600万円 (39,127円)
主な歳出	保健福祉費	1,981億7,200万円	1,937億600万円
	土木費	1,160億1,400万円	1,063億4,800万円
	職員費	1,057億5,800万円	1,054億7,300万円
	公債費	1,001億2,300万円	1,000億100万円

※（ ）内は市民一人当たりの金額（決算見込額を平成17年4月1日現在の人口（国勢調査ベース）1,864,352人で除して算出）

基金の状況

基金とは：特定の目的のために積み立てた資金や不動産などの財産。

区分	現在高
減債基金	1,276億4,400万円
土地開発基金	705億4,100万円
まちづくり推進基金	193億7,600万円
財政調整基金	157億1,100万円
その他の基金	132億1,700万円
合計	2,464億8,900万円

※平成17年3月31日現在

市債（借入）残高について

市債は公共施設などを造るのにかかる費用を、将来その施設を利用する市民にも分担してもらうために必要なものです。

今年3月31日現在で市債残高は2兆2,471億円。市民一人当たりでは約121万円にものぼります。

そのため、将来の財政運営を考えて、新たな借金ができる限り抑え、市債を返済するための資金の積立て（減債基金）をするなど、計画的な返済に努めています。

なお、一時借入金（年度途中の一時的な資金不足を補うための借入）は、平成17年3月31日現在、一般会計、特別会計、企業会計ともありません。

市債の状況

※平成17年3月31日現在

区分	現在高
一般会計	1兆1,749億5,800万円
特別会計 (国民健康保険、介護保険など)	72億5,800万円
企業会計（地下鉄、水道など）	1兆648億7,800万円
合計	2兆2,470億9,400万円

財政構造改革プラン

厳しい財政状況を踏まえ、今後も安定した行政サービスを提供するため、「札幌市財政構造改革プラン」を策定し、現在、次のような取り組みを行っています。

- 1 市役所自らが努力して節約します。
- 2 公共事業や臨時の事業は計画に沿って重点化していきます。
- 3 サービス水準や、サービスを利用する方に負担してもらうお金を見直します。
- 4 財源確保のため、使う見込みのない土地の売却など財産を有効に活用します。
- 5 地方分権時代にふさわしい税財政制度の検討や、経済の活性化などによる財政基盤の強化に取り組みます。

